

平成 29 年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書

第 7 分科会

忍野村立忍野中学校 PTA

会 長 渡 邊 大

『地域と連携した P T A 活動』

～ キャリア教育を地域とともに ～

1. はじめに

本校は山梨県の東南部、南に富士山(標高 3,776 メートル)、東に石割山(標高 1,413 メートル)といった山々に囲まれた標高およそ 900 メートルの所にあり、村内には桂川や新名庄川の 2 つの川が東西に流れています。

在籍生徒数は 232 名の中規模校である。保護者は会社員が多いが、自営業や民宿などの観光業に従事している保護者もいる。生徒は明るく純朴であり一生懸命頑張る生徒が多く、部活動でも大きな成果を挙げている。



(正面に富士山をのぞむ)



(グラウンド越しにのぞむ校舎の全景)

2. 本校の P T A の概要

P T A 会員は 216 世帯であり本会(会長 1、副会長 2、会計 3 の合計 6 名)と各学年部(各クラスから 3 名選出し、そのうち 1 名が委員長となる)から役員が構成されている。年間 4 回の役員会を開催し、各学年部の活動の連絡調整や相互の交流に努めている。

1 学年は環境美化部として主に 1 学期の親子美化作業を担当している。2 学年は生活指導部として夏の愛のパトロール、冬の道祖神の補導に活躍している。3 学年は教養広報部として年 2 回の P T A 新聞の発行の中心となっている。

本会はその活動の調整役と複数学年に渡る活動(学園祭体育競技での参加の呼びかけ、文化の部での会場整理、強歩大会での各ポイントごとの声かけなど)をしており、今回の

職業講話では講師の選出を行い、地域の人材を学校に取り込む活動を行っている。



(親子美化作業の様子)



(強歩大会での運営協力風景)

以下に職業講話について記す。

3. 地域とともに行う職業講話

本職業講話は本年度で21回を数える。地域の職業に目を開くことを目的に最初はすべての講師を在住で在勤という形で見つけ出して講話を実施してきた。その目的は大変素晴らしいが、近年当初の条件では講師が見つかりにくいという現状も見られるようになった。そこで、本年度は以下のように取り組みをすすめてきた。

(1) 職業講話について

趣旨

自らの生き方を主体的に創る進路指導をめざして
～進路指導における啓発的体験学習の充実を図るために、地域を学び・地域の人に学ぶ～

ねらい

啓発的体験学習のひとつとして地域を学び、保護者や地域の人に学ぶ機会とする。

日時 10月27日(金) 1:20～

職業講話の講師選出にあたって

- * 地域の人材を活用する。
 - * 基本的には村内の在住者という条件で探す。厳しい場合については忍野村出身者、それでも厳しい場合には近隣市町村在住者というように徐々に範囲を広げていく。
 - * 講話の時間内に、実技や実演、体験などを入れてもらえるよう依頼する。
 - * 謝金はなし。ボランティアで依頼する。生徒よりお礼の言葉と花束を贈る。
- * 過去の成果として、以下のことが挙げられる。
- ・ 自分の進路について考えられるようになった。
 - ・ 自分たちの問題としてとらえ、取り組めるようになった。

- ・職業講話の内容も体験的なものが入り生徒も興味を持って集中して学習できるようになった。など

この成果をふまえて

- * 本年度も、13 or 12 講座（生徒約17～20人とその親と担当職員が受講）を予定したい。

また、講師を選出するにあたり以下のことを参考にした。これは過去の生徒アンケートから得られたものである。

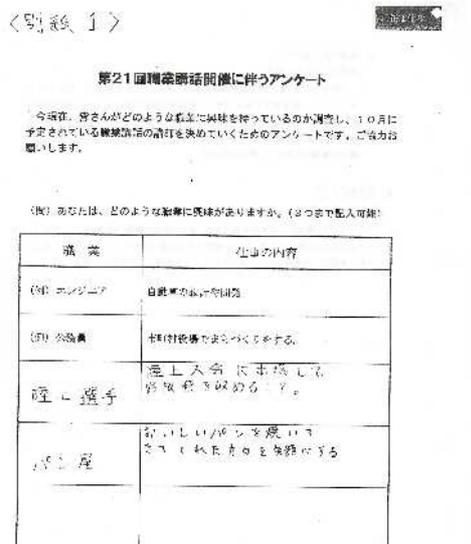
* 講話の内容 ～過去の生徒アンケートより～

- ・仕事の内容 ・大変なことやうれしいこと ・どうすればなれるか
- ・どんな勉強をすればよいか ・仕事で失敗したとき、どうしたか
- ・どうしてその仕事に就いたのか ・どういう資格が必要か
- ・今、自分たちは（中学生として）どうすれば良いか
- ・どのくらいの時間働くのか ・寂しさや悲しさはあるか
- ・試験はあるのか ・一番大変と感じていることは何か など

(2) 本年度の取り組み

5月15日の第1回役員会において、学校のキャリア教育担当の先生より本年度の職業講話の大筋が話され、上記(1)にある経緯を踏まえて本会PTA役員に講師の選出依頼があった。本会役員は講師選出にあたりどのように取り組んでいくべきかを話し合い、本年度は生徒の実情を知るために、本ページ右側のアンケート調査(別紙1・無記名・学年別)を実施することとした。すべての期待に応えることは難しいかもしれないが、より子ども達の希望に添った講師を選出しようと試みたものである。

<別紙1>



集計した以下の結果はPTA役員会で環流し、講師依頼の参考意見を伺った。

生徒の希望が多かった職業は以下の通りである。

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|---|--------------------|---------------|-----------|
| 1 | 医者(フライングドクターを含む) | 保育士・幼稚園教諭 | 保育士・幼稚園教諭 |
| 2 | 看護師(訪問看護師含む) | パン屋 | パティシエ |
| 3 | パティシエ | パティシエ(ケーキ屋含む) | 会社員 |
| 4 | サッカー選手(スタッフ指導者を含む) | 美容師・理容師 | 美容師・理容師 |
| 5 | 建設業(大工・塗装業含む) | 建設業(大工・土木業含む) | 看護師 |

その結果を踏まえ、生徒の希望を参考にしつつも以前とは違った職種の講師を取り入れる中で職業講話の実施したいと考えた。そのような経過の中、本年度の講師を選出した。本原稿では日程の関係上、昨年度の内容を紹介するが、本年度のものは別紙をご覧ください。

講師へは内諾を取る所までをPTAが担当し、それを学校へ伝え正式の依頼を担当より発送してもらう形をとった。なお、会社員や公務員など所属長宛の依頼もあわせて学校より発送をお願いした。

さらに、すべての保護者に向けても子ども達と同じ講話を聞くことで家庭においてもキャリア教育に目を向けることを目的として案内を出した。同時に本会役員を通して学年役員にもこの講話は保護者の参観が可能であること。できるだけ多くの保護者に参加をしてもらいたい旨を伝え参加を促した。

当日は12時20分に集合し、講師の出迎えや最終打ち合わせを経る中で講話を実施した。

平成28年度の講師一覧

本年度のものは当日の配付資料をご覧ください。

| 職 種 | 紹 介 | 氏 名 |
|--------|----------------------------|---------|
| 自衛官 | 『山梨地方協力本部募集科募集班長』 | 加藤 琢二さん |
| 栄養教諭 | 『忍野村給食センター・管理栄養士』 | 渡辺喜代子さん |
| 消防士 | 『富士河口湖消防署・消防士』 | 天野 幸治さん |
| 警察官 | 『忍野駐在所』 | 佐藤 浩一さん |
| 福祉 | 『忍野村デイサービス・介護士』 | 宮下 良仁さん |
| 保育士 | 『忍野村幼稚園』 | 大森美由紀さん |
| 美容師 | 『髪処 経営者』 | 小俣 三彦さん |
| 製造業 | 『ファナック・システムインテグレーター戦略室長』 | 篠塚 一亮さん |
| パティシエ | 『パティスリーアン』 | 渡辺 一さん |
| 鍛冶職人 | 『富士日本刀鍛錬所』 | 内田 義基さん |
| 助産師 | 『山梨県立中央病院』 | 塩沢真由美さん |
| バス運転士 | 『東富士観光自動車株式会社』 | 渡邊 茂明さん |
| 自動車教習所 | 『静岡県公安委員会指定富士学校自動車株式会社指導員』 | 宮野 誠さん |

(3) 当日の様子...原稿は昨年度のもの。本年度版は当日の配付資料をご覧ください。
紙面の関係で、すべての講座を紹介することはできないが、特徴的なものをいくつか紹

介する。



こちらは、消防士による講話風景である。教室でこれまでの経歴や仕事内容などを一通り話して頂いた後に実習として1Fの廊下を使って火災時における救助の様子を体験した。



体験の中では自分の身を守るために気をつけな

ければならないことや協力して救助するための約束などにもふれて頂いたので、スタンドプレーが許されないことや協力して取り組むことの大切さを実感したという。



こちらは警察官の講話である。最初には同じように、経歴や現在取り組んでいることを話して頂いた。その後の体験の部分は瓶についた指紋を検出することをさせて頂いた。初めての経験が多く、真剣に取り組んでいた。



昼夜を問わずに業務につくので、責任感や使命感を強く感じたと言っていた。



こちらは、美容師の講話である。実習を行う関係で、普通教室ではなく特別教室で行った。実習の中では顔を剃る様子を見学した。道具を鮮やかに使用する姿はさすがプロと感じた生徒も多かった。



また、技術面だけでなくお客さんにあわせてのコミュニケーション能力や話題を広く持つことなど広い意味での力が必要になることを実感したようである。



こちらはパティシエによる講話の様子である。村内在住の職人さんを招いて講話を行った。こちらも実習の関係で特別教室を使っでの講話となった。実習では洋菓子を実際に作



ってみるといふものとなつた。初めて扱ふ道具に戸惑いながらも一生懸命に取り組んでい
た。

きれいに作るにはどんなことに注意したら良いか。手順はどのようにしたら良いかとい
うことなど多くのことを学ばせて頂く機会となつた。

(4) 成果と課題

本年度で21回を数える職業講話であるが、子ども達にとって職業に目を向けるきつ
かけとして大変有効であると聞いている。また、地元でこういった仕事に就いているとい
う人材を紹介することでふるさとの職業を見つめ直す機会になっているとも考える。それぞ
れの講師の方々にも「講話だけでなく、体験活動を取り入れて」と依頼することで子ども
達も約90分の長い時間であるが集中して取り組むことができている。

また、地元の講師の方々に学校に来て頂き学校の様子を知って頂けることも大きなメリ
ットである。いずれにしてもPTA活動の一環としてこのような行事に携わることは本校
ならではのことと感じている。

反面、講師の選出には大変頭を悩ませた。子ども達の希望をくみ取ると近隣にはない職
業も多い。このときにあわせて他地区から講師を探してくるべきか、それとも講話以降も
話の続きが聞けるように地元の方に依頼すべきか...大変悩んでいるところである。

また、この行事は広く全家庭にお知らせをし、参観を呼びかけているところであるが保
護者の参観数は必ずしも多いとはいえない。この点に関してはよりよい方策を考えて行き
たい。

4. おわりに

今年も様々な方にご協力頂き職業講話を実施することができた。これも、本年度まで過
去20回をつないできた歴代役員の努力の賜であると感じている。苦勞も多かったが何よ
り子ども達が真剣に話を聞き、実習にのぞんでいる姿を見ると、それも吹き飛ぶように感
じる。今後もこの行事が続き、将来的にはここで学んだ子ども達が講師の多くを担って
いけるようになれば素晴らしいと思う。これからも子ども達の健やかな成長のためにPTA
は何ができるかということを考えていきたい。